



ひるの星

No. 241

もくじ	
アビドル・バハの言葉 <small>ことば</small>	2
言葉の意味 <small>ことば いみ</small>	3
精神的な春 <small>せいしんてき はる</small>	4
レズワン	8
クイズ	12
一筆書き <small>ひとふでがき</small>	13
ちぎり絵の作成 <small>ちぎり え さくせい</small>	14
みんな写真 <small>みんな しゃしん</small>	17
両親のページ <small>りょうしん</small>	19

^{なんじ}「汝は、^{じぶん}自分がどのような

^{しゅうき}周期に^{そうぞう}創造されたのか、

また、^{じだい}どんな時代に

^い生かされているのか、

^し知っているだろうか？

・ ・ ・ ^{たいよう}それは太陽が^{すいへいせんじょう}水平線上に

^{あらわれた}現れた^{じだい}時代であり、

^{せいした}聖下・^{えいえん}永遠なる^{ごかた}御方の

^{うつ}美しい^{はる}春の^{じだい}時代

なのである！」*

アブドル・バハ



【^{かんじ}汝は、^{じぶん}自分がどのような^{しゅうき}周期に^{そうぞう}創造されたのか、また、どんな^{じだい}時代に生かされているのか、
^し知っているだろうか？・・・それは^{たいよう}太陽が^{すいへいせんじょう}水平線上に^{あらわ}現れた時代であり、^{せい}聖下・^{えいえん}永遠なる
^{かた}お方の^{うつく}美しい^{はる}春の^{じだい}時代なのである！】 アブドル・バハ *

^{ひこうにんやく}
* 非公認訳

^{いみ}この意味は何^{なん}でしょうか？

^{わたし}私たちがどのような^{せいしんせかい}精神世界、また、そのどれほど^{とくべつ}特別な^{じだい}時代に生かされてい
^しるのかを、^し知っているかた^ずねられています。^{たいよう}太陽も^{かた}お方も^{かみ}神様であり、^{かみ}神の
^{けんじしゃ}顕示者とも言えます。「^{たいよう}太陽が^{すいへいせんじょう}水平線上に^{あらわ}現れた」とは神様の新しいメッセー
^{あらわ}ジが^{あらわ}現れ、それを^{わたし}私たちに^し知らせて^{あた}くださる^{あら}新しい^{せい}先生が^{あら}現れた^いと言ってい
^{せい}るのです。「^{せい}聖下・^{えいえん}永遠なる^{かた}お方の^{うつく}美しい^{はる}春」とは、^{きせつ}ちょうど^{はる}季節の^{はる}春がすべて
^{はじ}の^{かみ}始まりのように、^{かみ}神様の^{あた}新しい、^す素晴らしい^{せいしんせかい}精神世界が^{はじ}始まると^い言っている
^いのです。

^{わたし}私たちは、この^す素晴らしい^{じだい}時代に^う生まれて^{ほんとう}本当にラッキーです。こんな

^す素晴らしい^{じだい}時代に^い生きる^{ひとり}一人に^{えら}選ばれる^{わたしたち}なんて^{かんしゃ}私たちは感謝すべきです。





せいしんてき はる 精神的な春

おきなわ 5にん こども りょうしん
沖縄の5人の子供が両親とピクニック

で
に出かけました。よく晴れた暖かい春の日曜日でした。午前中、子供たちが好き

な公園で好きなだけ遊ぶように、お父さんはあちこちドライブしてまわりま

した。どの公園でも両親はベンチに座って子供たちが遊ぶのを嬉しそうに見守

っていました。ランチは家の近くの公園の木の下で食べることにしました。そ

こでお母さんがため息をつきながら言いました。「春って、素晴らしいと

おも
思わない？何でも新しくて新鮮なおいがるものね。新しい精神的な春の、

この時代に生きているなんて私たちみんな幸福ね。」「精神的な春ってどうい

い み
意味なの？ママ？」ピーナツバター・サンドイッチを食べながら、ポテトチッ

プスに手を伸ばしているシャラがたずねました。一番年下のアニサは周りのこ

となんか素知らぬ顔で、てんとう虫と遊ぶのに夢中でした。他の子供たちは答え

ま のぞ かあ かお み あ
を待ち望んでお母さんの顔を見上げていました。

「そうね。」とお母さんが語り始めました。「毎年春になると地上はみんな

あた
新しくなるわね。植物は新しく生えるし、動物の赤ちゃんも生まれてくるわね。

あた
新しい精神的な春がやって来ると、神様は私たちに新しい精神的な生命、つまり

かみさま あたら おし
神様の新しい教えをくださるのよ。神様の新しい教えは、神の顕示者が私たちの

ところに持って来られるの。」遊んでいたと虫
が飛んで行ってしまったので、突然耳を傾け出した
アニサが、「神の、なに？」とたずねました。他の子供
たちは笑ってしまいました。リヤズが、「何だ、突然、
お前は。」と言うと、アスマが、「神の顕示者と言って
ね。神様のことを俺たち人間に教えてくださる偉大
な先生のことだよ。」と説明しました。「そうだよ。」



とリヤズが続けました。「モーゼ、ブッダ、キリスト様なんかだよ。」さらにシ
ヤラが、「マホメット、バブ、バハオラ様とかもね。」と続けました。「わーお、
子供クラスみたいだな。みんながこれだけ参加するなんて嬉しいな。」と
お父さんが感心しました。「いつもと、みんなの様子が違うぞ。」みんなどっと
笑ってしまいました。さらにお母さんが続けました。「精神的な夏になると草木
が生い茂るように神様の教えに従う人も増えるのよ。そうすると文明も発達す
るのよ。やがて秋が来てその実りが終わるでしょ。その頃には冬がやって来て
人々も神様のことを忘れてお互いに冷たくなるのよ。だから次の新しい神の
顕示者が現れる春をみんなで待つ。それでは今の新しい神の顕示者は誰でし
よう？」アニサが「あっ、私、知っている。」と跳んだりはねたりしながら
叫びました。みんな、アニサの方に注目しました。それはアニサが望むところ

あたらし とし いみ
新しい年という意味なのよ。そしてあたらし はる はじ ひ
新しい春の始まりの日でもあるのよ。それ

あたらし せいしんてき はる しら
は新しい精神的な春の報せなの。レズワンとおな
と同じようにね。バハオラはレズワ

その じぶん あたらし かみ けんじしゃ あ
ンの園でご自分が新しい神の顕示者だと明かされたのよ。バブとバハオラを

ふたご けんじしゃ あたらし せいしんてき はる おとず いわ かあ
双子の顕示者として新しい精神的な春の訪れを祝うのよ。」とお母さんはにつこ

りして言いました。「やった！ はる き
春が来た！」とアニサが叫びました。みんな、ア

ニサのあとをお
追うように「やった！ はる き
春が来た！」と叫びました。ボールをも

おとうさんが言いました。「ドッジ・ボールをしようか？アスマとおれ
がオニになる

ほか
から他のみんなはかこ
なか はい
囲いの中に入りなさい。」みんないっせいにゲームのじゅんび
準備に

と
取り掛かりました。ことり
小鳥たちがき
木でさえずる、のどかなひより
日和でした。



レズワン

ちい
小さなアニサはお母さんのお手伝いで紙粘土



のろうそく^た立てを^{つく}作っていました。ろうそく

た^た立てに^{いろづ}色付けをしているところでモナ、アスマ、リヤズとシャラが学校から帰っ

てきました。「あれ？アニサ、お母さんと何^{なに}をしているの？」とシャラがたずね

ました。「レズワンのろうそく^た立て作りよ。見て、12個^こもできたわ。」さらに

シャラはたずねました。「レズワンのろうそく^た立てって、何^{なに}？」アニサがその^{ひと}1

つを^{しあ}仕上げながら^{こた}答えました。「何^{なん}だか知らないけど、きれいでしょう！」モナ

と男^{おとこ}の子^こたちは^{わら}笑ってしまいました。「そのろうそく立てはねレズワンのお

祝^{いわ}いに^{つか}使われるのよ。」とモナが言いました。「去年^{きよねん}もあつたのだけど、アニサ

は^{ちい}小さかったから^{おぼ}憶えていないのよ。」するとシャラが^い言いました。「私^{わたし}もそん

な^{おぼ}の憶えていないもの。」「レズワンの祝^{しゅくじつ}日^{にちかん}の12日間、毎朝^{まいあさ}1本^{ほん}ずつろうそく

を^{とも}灯して^{いの}いって、お祈りするんだよ。」とアスマが^{こた}答えました。

「3本の^{ほん}大きな^{おお}ろうそくは3日間の^{みつかかん}特別な^{とくべつ}祝^{しゅくじつ}日用^{じよう}だよ。そ

うだよ。ママ？」とリヤズが^つ付け^{くわ}加えました。「わあ、ア

スマ、リヤズ、すごい！二人ともよく^{おぼ}憶えていたわね。

^{つづ}続けて。」とお母さんは^{かあ}嬉^{うれ}しそうに^い言いました。モナが

^{つづ}続けました。「12日間^{にちかん}とは、バハオラがイラクのバクダッ





ドのレズワンの園^{その}にいらっしゃった日々^{ひび}のことなのよ。」するとシャラが言いました。「そうそう、バラの園^{おも}でしょ。思い出^だしたわ。」^{つづ}けてリヤズが叫^{さけ}びました。

「バハオラはそのとき、あし毛^け（白^{しろ}に赤茶^{あかちや}の混^まじった毛）の馬^けに乗^{うま}っておられたのだ

ろう？」「ええ、そうなのよ。それじゃ、初^{はじ}めから説^{せつめい}明^{めい}しましょう。ペルシャ（今

のイラン）^{せいふ}政府^{あた}は新^{かん}しい考^{かた}え方^{せかい}で世^{ひと}界^{びと}の人^{わごう}々^{おしえ}が和^{ひろ}合^おする教^{おしえ}えを広^{ひろ}められていた

ばハオラをペルシャ^{べるしゃ}の人^{ひと}々^{びと}から引^ひき離^{はな}そうとしていたの。それでバクダッドに

お^お追^だい出^だしたのよ。でもペルシャから遠^{とお}く離^{はな}れたバクダッドまでバハオラ^{おし}の教^{おし}え

を聞^きこうとして人^{ひと}々^{びと}はバハオラを^{さが}探^さしに^き来た^きの。それでペルシャ^{せいふ}政府^{せいふ}はさらに

人^{ひと}々^{びと}をバハオラから引^ひき離^{はな}そうとしたのよ。バハオラに^{したが}従^{したが}っていた人^{ひと}々^{びと}は、こ

れを^{かな}ひどく悲^{かな}しんだものだから、バハオラは^{かれ}彼^{かれ}ら^{げんき}を元^{げんき}気^{げんき}づけよう^{かんが}と考^{かんが}えられた

の。バハオラはバクダッドの^{かわ}大^{かわ}きな川^うに浮^{ちい}かぶ小^{しま}さな島^かを借^きり切^きって人^{ひと}々^{びと}をそ

こに^よ呼^よばれた^よのよ。その^{しま}島^{しま}は『レズワンの園』^{その}と^よ呼^よばれる、^{てんごく}天^{てんごく}国^{てんごく}とい^いふ意^い味^いの園^{その}

だ^いった^いのよ。そこは^{いろ}色^{いろ}とりどりの^さバラ^{みだ}が咲^さき乱^{みだ}れ、ま^{てんごく}さに^{おも}天^{てんごく}国^{てんごく}かと思^{おも}われるよ

う^{うつく}な美^{うつく}しさだ^{うつく}った^{うつく}から^{うつく}なのよ。人^{ひと}々^{びと}は^はみ^はん^はな^はで^はそ^はこ^はに^はテ^はント^はを^は張^はって、^{まいあさ}毎^{まいあさ}朝^{まいあさ}バ

ハオラ^{おし}の教^{おし}えを^き聞^きこうとして^{あつ}集^{あつ}ま^{あつ}った^{あつ}のよ。その^{あつ}とき、^{あつ}その^{あつ}集^{あつ}ま^{あつ}りに^{ささ}捧^{ささ}げ^{ささ}られた

バラ^{たが}で^{すがた}お^み互^みいの^み姿^みが^み見^みえ^みな^みく^みなる^みほ^みど^みにな^みった^みそう^みよ。それ^{よる}から^{よる}夜^{よる}は^{よる}夜^{よる}で^{ひとぼん}一^{ひとぼん}晩^{ひとぼん}

中^{じゅう}ナイ^{じゅう}チ^{じゅう}ン^{じゅう}ゲ^{じゅう}ール^{じゅう}が^{じゅう}その^{うつく}美^{うつく}しい^{こえ}声^{こえ}で^な鳴^ないて^ないた^なそう^ななの。この^{ばはおら}とき^{ばはおら}バ^{ばはおら}ハ^{ばはおら}オ^{ばはおら}ラ^{ばはおら}は

ごじぶん かみさま
ご自分が神様からつかわされたメッセンジャー、つまり神の顕示者だと

あ
明かされたのよ。 ほとけさま
仏様、モーゼ、キリストやマホメット様のようにね。それを



き
聞いた人々は大変大喜びしたのよ。 おお
多くの人々が

バハオラはすごく偉大で特別な方だとわかったの。

というのも、これまでの神の顕示者が長く

まちのぞんで
待ち望んでおられた方だと知らされたからなの。

さいご
最期の12日目にバハオラの家族とわずかの

じゅうしゃ
従者がバクダッドから追われることになったの。バハオラが大きな赤い馬にま

たがったとき、人々は別れを惜しんでバハオラの足にキスしたり足元に

な
泣き崩れたりしたのよ。 そのときバハオラは人々に神様の教えに従って世の中

に奉仕するように告げられたの。バハオラと人々が過ごした『レズワンの園』

できごと
での出来事を偲んで今でも世界中の人々がお祝いするのよ。 あたら
新しい神の顕示者、

バハオラが人々を新しい精神的な春に導かれたことをお祝いする

のよ。 レズワンの最初の日にはバハオラがレズワンの島に着かれ

た日のことを偲ぶのよ。 9番目の日にはバハオラの家族が

く
加わった日のことを、12番目の日には全員がバクダッドを

さ
去った日のことを偲ぶの。」「バラのことを私は知っていたわ。」



とシャラが言いました。「ナイチンゲールって、何？ママ？」とアスマがたずね

ました。「オスが美しい声で夜に鳴く『小夜鳴き鳥』とも呼ばれる小鳥のことよ。
よく詩にもうたわれる、この小鳥はバラの美に魅せられて鳴くとも言われてい
るのよ。」お母さんは立ち上がってテーブルの紙粘土やろうそくの屑を
と取り除いてきれいにしていきました。子供たちは床の間に12本のろうそく
を立てを飾るお手伝いをしていました。「それでね、4月21日から5月2日まで
毎朝お祈りをしている間、ろうそくを1本ずつ灯して行ってレズワンを盛大に
祝うのよ。」とお母さんが言うと、アニサが手を叩きながら言いました。「私
が
お手伝ったのよ。」みんな笑ってしまいました。そして一緒に手を叩きました。「そ
れはそうと、みんな宿題をしなくてはね！」と今度はお母さんが駆け立てるよ
うにパンパンと手を叩きながら言いました。



クイズ

- 1 「水平線すいへいせんの太陽たいよう」とか「聖下せいげ・永遠えいえんなるお方かた」とは何なんのことでしょう？

- 2 私たちわたしが住すんでいる特別な時代とくべつじだいとはどんな時代じだいのことでしょう？

- 3 春はるの朝あさ、沖繩おきなわの5人にんの子供たちこどもはどこへ行いったのでしょうか？

- 4 「精神的な春せいしんてき はる」をお母さんかあは何なんと説明せつめいしたのでしょうか？

- 5 「偉大な先生いだい せんせい」を別の言葉べつことばで何なんと呼ぶでしょう？（ヒント アニサが「それって、誰だれなの？」とたずねたお方）

- 6 「神かみの顕示者けんじしや」をいくつかあげてみましょう。

- 7 「精神的な春せいしんてき はる」と「ふつうの春はる」の違ちがいをお父さんとうは何なんと説明せつめいしたのでしょうか？

- 8 「精神的な春せいしんてき はる」の「双子ふたごの神かみの顕示者けんじしき」とは誰だれでしょう？

- 9 「レズワン」とは何なんでしょう？

- 10 「レズワンの園その」で起おきたのは何なんでしょう？

- 11 「精神的な春せいしんてき はる」を自分の想像じぶん そうぞうで絵えに描かいてみましょう。その絵えを「ひるの星ほし」に送おくってください。次つぎの号ごうで載のせます。よろしくお願ねがいします。

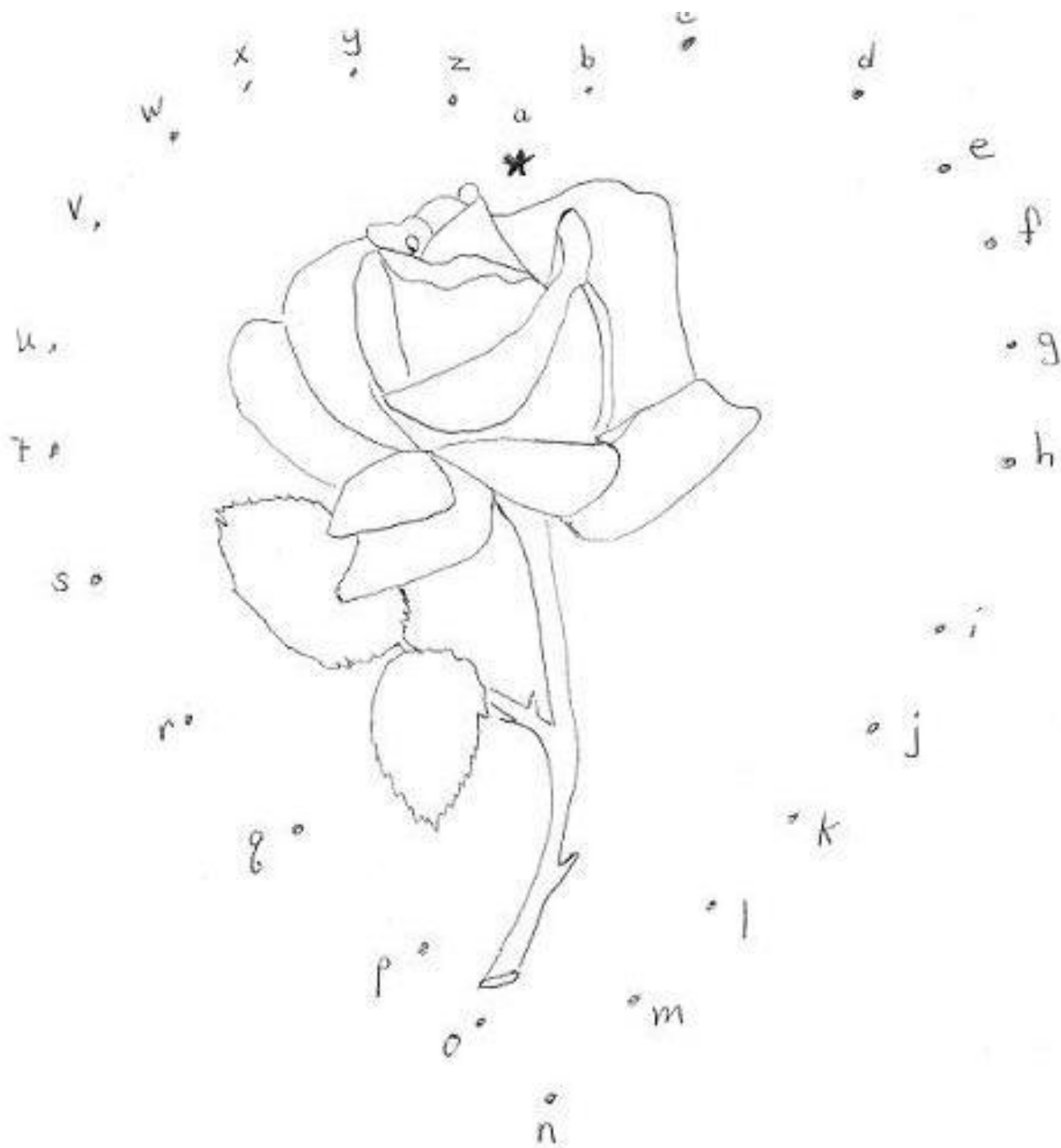
うまく答こたえられましたか？
答こたえは両親りやうしんのページにあります。



a から b へ....

b から c へ....

てん
点をつなげると何^{なに}が見^みえるでしょう？



ちぎり絵



ちぎり絵の作り方

1 材料

セロハン紙一枚（透明）またはクッキング・ペーパー一枚

カーボン紙一枚

色紙一枚（100円ショップで求められます。）

のり、のり付け用筆（絵筆でもよい。）

色和紙（100円ショップで求められます。）淡い赤、濃い赤、青、淡い緑、濃い緑

灰色、紫

2 作り方

- ① セロハン紙の下に花の絵をおき、セロハン紙にその絵をなぞる。
- ② セロハン紙を色紙にかぶせて上部をテープでとめる。（セロハン紙をめくって、色紙上にのり付けする花びらや葉などの位置を決めるため。）
- ③ セロハン紙の下にカーボン紙、その下に赤色和紙をおく。花びら①を本物の花びらを根元から抜き取った形にしてなぞる。
- ④ なぞった花びら①を赤色和紙から切り取る。
- ⑤ ③、④の手順で他の花びら、葉、茎と番号順に作っていく。
- ⑥ セロハン紙をめくって色紙上にのり付けする位置を確かめながら切り取った色和紙を番号順に筆でのり付けして貼る。番号順を間違えないように気をつけること。





にほん こども
日本の子供

やまぐち こども
山口の子供クラス



東京

くまもと
熊本



高松



グアム



シカゴ



両親のページ

家庭またはバハイ共同体がノールーズ、レズワンなどの祝日を祝う活動に子供と必ず参加するようにしましょう。断食の日々に美德が書かれた卵を飾りつけノールーズには美德の木が出来上がります。レズワンの日々にバラの木に飾られた短冊を開けて引用文を暗唱をする活動は、子供心に楽しい思い出となるでしょう。大人になっても伝統的な習慣となつて身につけるでしょう。大事なことは子供たちにこれらの活動を通して奉仕の精神に目覚めさせることです。人生の目的は人間だったらお互いに助け合うことです。子供たちと力を合わせて私たちの家庭を明るくし、社会に貢献できるよう心がけましょう。

おお、優しき主よ。これらの麗しい子供たちは、あなたの御威力の指により創られたものであり、あなたの偉大さを示す、素晴らしい御しるしであります。おお、神よ。これらの子供たちを守り給え。教育されるよう恵み深く援助し。人類世界に奉仕できるようなし給え。おお、神よ。これらの子供たちは真珠であります。ご慈愛の貝の中で養い給え。

あなたはご恩恵深き方、全てを愛し給う御方におわします。

アブドル・バハ

クイズの答え

- 1 神様のこと
- 2 精神的な春の時代（新しい精神世界が始まる時代）
- 3 沖縄のあちらこちらの公園
- 4 一番新しい神の顕示者
- 5 神の顕示者
- 6 仏様、モーゼ、キリスト、マホメット、バブ、バハオラ
- 7 季節の春は毎年あまり変わらないけれど、精神的な春が来る度に新しい神の顕示者（神様のメッセンジャー）が現れる。神様の新しいメッセージで世界の人々の和合が高められる。
- 8 バブとバハオラ
- 9 イラクのバクダッドに流れる川に浮かぶ島の名前。ペルシャ政府がバハオラの一行を迫害するのを悲しむ人々をバハオラがそこに招いて励まされた。
- 10 バハオラが、ご自分が新しい神の顕示者であることを明かされた。



皆さんのお子様のバハイ活動でみんなに役に立つ
いいお話、又は写真などがあれば、送ってください。
vb7mb7@bma.biglobe.ne.jp に送ってください。

ひるの星

№. 240

2010年3月発行

ひるの星をカラー印刷するには以下のリンクにアクセスしてください。

<http://www.bahaijpn.com/daystar.htm>

日本バハイ全国精神行政会

〒160-0022 東京都新宿区新宿7丁目2番13号

電話：03-3209-7521 F A X：03-3204-0773

ひるの星委員会：平原静志、平原ルアナ、マクティア・理恵

協力

物語：平原ルアナ

和訳：平原静志

工作：しゅんこう和紙ちぎり絵、平原ルアナ

写真：小島えり子、スティーヴ・ガントレット、ローラ・チョウ、平原ルアナ、
ヴィアデク・ヴィテク、安良ちか子、アンドル・マロ

絵：ラリー・カーティス、バーバラ・キャスターライン、平原ルアナ、
、サナ・マジズーブ

テクニカル・アドバイザー：尊田望

監修：平野祐一